

【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

東久留米市立本村小学校 第4学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>漢字習熟について十分と認められる児童が少なく、課題と見られる児童が70%ほどいる。</li><li>自分の考えを書くことはできるが、叙述に即した考えを書ける児童は少ない。書けている児童は60%ほどである。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>既習漢字を復習するために、自分なりの学習方法を身に付けさせる。(漢字小テスト、50問テストの正答率80%以上)</li><li>根拠をもって考えることができるように、発問やワークシートを工夫する。(ノート・ワークシートでの記述や授業中の発言で、根拠を明らかにしている。80%以上)</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>四則計算が身に付いていない児童が60%ほど見られる。基礎基本の定着度に二極化が見られる。(ワークテスト知識・技能平均78点)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>算数の時間の最初に5分間のスキルアップタイムを設け、常に計算練習を行って四則計算を基本とした計算力の向上を図る。(ワークテスト平均80点)</li></ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"><li>実験や観察などに意欲をもって活動することができている。</li><li>実験結果を学習内容をもとに考察したり、問題を解いたりすることに課題が見られる児童が60%ほどいる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>実験、観察など、自分の目で確かめられるような活動を引き続き行っていく。(各単元につき、実験や観察を1回以上行う)</li><li>自分の言葉で、実験結果やまとめを表現できるようにし、確実に理解できるようにする。(ノートやワークシートに記述できている。80%以上)</li></ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えをワークシート等を書くことができている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えだけでなく、他の人の考えにもふれられるよう、ペア・グループ活動を取り入れる。交流を通して考えを深めさせる。(ペアやグループで意見交換する場を、毎時間設定する。)</li></ul>